

平成 19 年 5 月の公社債市場

(1) 流通市場

長期国債

平成 19 年 5 月の長期国債流通利回り(注 1)は、大型連休の谷間で売買が手控えられるなか、欧米債券市場の上昇を受け、1日に 1.605%と前月末(1.620%)から続伸(利回りは低下)して始まった。その後、17日に発表された 1~3 月期の GDP 一次速報が市場予想を下回る一方、同日の日銀金融政策決定会合後の記者会見で福井総裁が景気の先行きに強気な見方を示すなど、景況指数や株価動向等をにらみつつ、利上げを警戒する売りと下値模索の押し目買いが交錯する神経質な展開となった。これを受け、長期国債流通利回りは中旬にかけて 1.65%付近でのボックス圏でのみみ合い商状が続いた。

下旬に入ると、米国債券市場の大幅下落など、欧米長期金利の上昇に伴う内外金利差の拡大を背景に外国人投資家等による先物主導の売りが続いたことから、相場は続落する展開となった。このため、長期国債流通利回りは月末にかけて上昇基調が続き、25日に 1.7%台に乗せた後、29日に 1.750%まで上昇し、31日に前月末比 0.124%上昇の 1.744%で越月した。

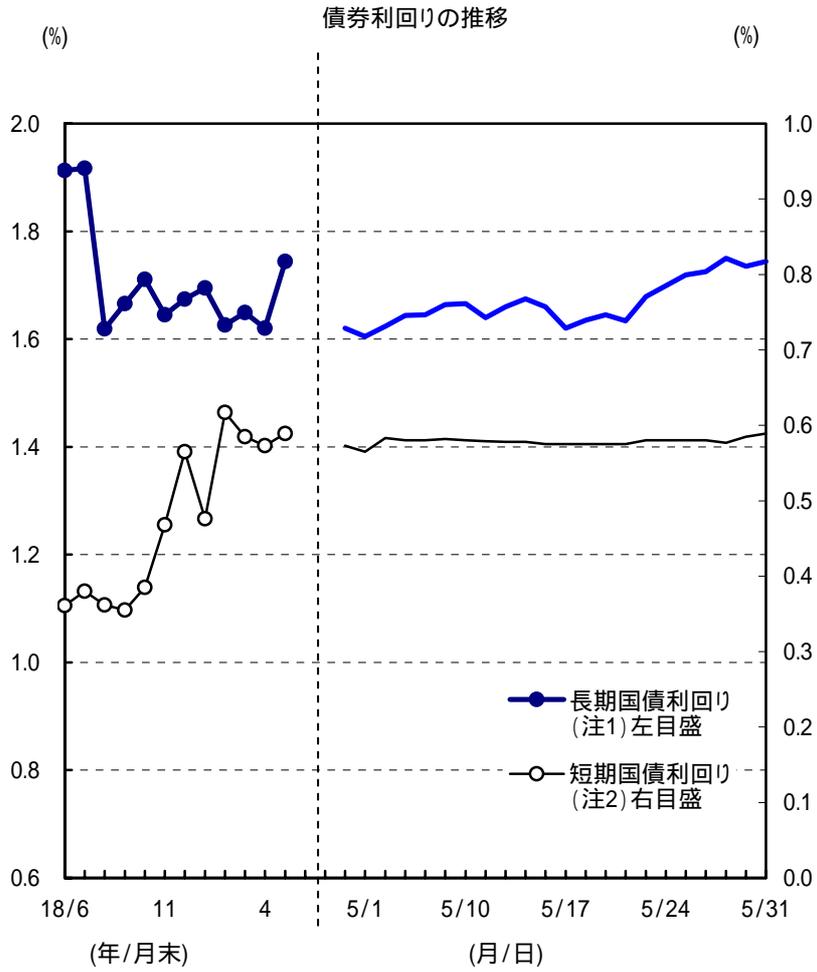
(注 1) 長期国債(10 年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

短期国債等

平成 19 年 5 月の短期国債流通利回り(注 2)は、1日に 0.565%と前月末(0.573%)から低下して始まった。下旬にかけて長期金利が大幅上昇に転じる一方、目先の利上げは夏から秋口にかけての時期が意識されたことから、6 か月~1 年債で動意が見られたものの、3 か月物の FB は月中を通じて小幅な動きに終始した。

ただ、月末に実施された 3 か月物 FB の入札において、償還月(9 月)の利上げが意識されたことを背景に落札金利が強含んだことを受け、短期国債流通利回りは 31 日に前月末比 0.016%上昇の 0.589%で越月した。

(注 2) 政府短期証券(3 か月)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

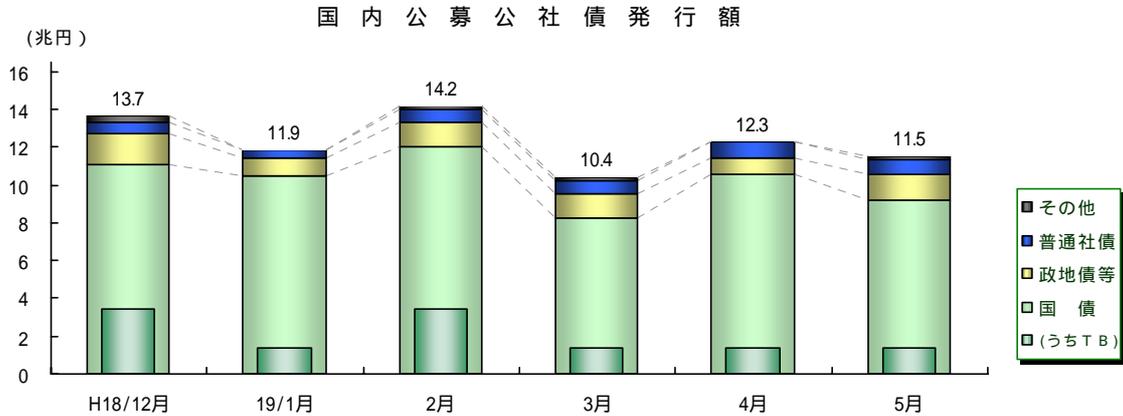


(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

(注2) 政府短期証券(3か月)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の
 平均値(単利)。

(2)発行市場

- ・5月の国内公募公社債発行額は、11兆5,454億円と前月に比べ7,088億円減少した。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

国債

- ・個人向け国債の発行月の関係などにより、発行額が前月を1兆4,000億円程度下回った。

発行額(億円)	H18/12月	19/1月	2月	3月	4月	5月	前月比
国債	110,539	104,956	120,051	82,253	106,111	92,146	13,966
(うち割引短期国債)	(33,999)	(14,000)	(34,000)	(14,000)	(14,000)	(14,000)	(0)
(うち個人向け国債)	(0)	(15,064)	(0)	(0)	(11,805)	(0)	(11,805)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

地方債、政府保証債及び財投機関債等

- ・財投機関債の発行額が前月に比べ大幅に増加し、18年2月以来の6,000億円台乗せとなった。
- ・地方債の発行増加は、10年債が増加したことや前月に発行のなかった20年債が発行されたことなどによるものである。

発行額(億円)	H18/12月	19/1月	2月	3月	4月	5月	前月比
地方債	6,390	3,650	4,680	5,454	3,131	4,607	1,476
(うち住民参加型)	(950)	(0)	(320)	(194)	(31)	(207)	(176)
政府保証債	5,850	4,150	4,700	4,715	2,450	2,700	250
財投機関債	4,244	1,682	3,713	2,929	2,730	6,471	3,741
地方公社債	170	150	200	0	0	0	0

普通社債

- 普通社債の発行額は、電力債の増加やNTT債の発行などにより引き続き高水準となったものの、銀行社債が減少したことから全体としては前月を若干下回った。
- 一般事業債のうち投資法人債券の発行が550億円（4銘柄）となり、前月の170億円（2銘柄）を上回った。

発行額(億円)	H18/12月	19/1月	2月	3月	4月	5月	前月比
普通社債 (うち個人向け社債)	6,015 (420)	4,050 (600)	6,935 (400)	7,145 (200)	8,120 (200)	7,930 (350)	190 (150)
電力債	320	500	0	1,000	700	2,250	1,550
一般事業債	4,145	1,850	4,690	5,325	3,370	3,580	210
NTT・JR・JT債	0	200	200	0	600	1,300	700
銀行社債	1,550	1,500	2,045	820	3,450	800	2,650

(注) 1. 一般事業債には、投資法人債券を含む。

2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

円建外債、C B及び資産担保型社債

- 円建外債の発行額1,600億円は、米国金融機関の大型発行(劣後債などを含む4本建、償還年限は5～10年)によるものである。

発行額(億円)	H18/12月	19/1月	2月	3月	4月	5月	前月比
C B	860	0	50	0	0	0	0
資産担保型社債	0	0	0	224	0	0	0
円建外債	2,600	0	1,600	900	0	1,600	1,600